

瀬田川プランクトン調査結果速報

滋賀県立衛生環境センター
琵琶湖水質担当
平成7年10月23日 第30報

植物プランクトン

(綱) 種 名	細胞数 (群体数)	優占種(占有率)	
		数	体積
(藍) <i>Aphanothece clathrata</i> *	160		
(藍) <i>Chroococcus dispersus</i> *	20		
(藍) <i>Chroococcus dispersus</i> var. <i>minor</i> *	20		
(珪) <i>Melosira granulata</i>	1200	◎	◎
(珪) <i>Stephanodiscus astrea</i> var. <i>minutula</i>	20		
(褐) <i>Rhodomonas</i> sp.	200		
(緑) <i>Oocystis</i> sp.	80		
(緑) <i>Pediastrum duplex</i> var. <i>reticulatum</i>	100		
(緑) <i>Pediastrum biwae</i>	520	○	○
(緑) <i>Crucigenia</i> sp.	160		
(緑) <i>Closterium aciculare</i> var. <i>subpronum</i>	1		
(緑) <i>Staurastrum dorsidentiferum</i> var. <i>ornatum</i>	7		
(藍) 藍藻綱	200	8.0	3.7
(黄) 黄緑藻綱	0	0.0	0.0
(黄鞭) 黄色鞭毛藻綱	0	0.0	0.0
(珪) 珪藻綱	1220	49.0	63.5
(渦) 渦鞭毛藻綱	0	0.0	0.0
(褐) 褐色鞭毛藻綱	200	8.0	1.2
(み) みどり虫藻綱	0	0.0	0.0
(緑) 緑藻綱	868	34.9	31.6
(他) その他のプランクトン	0	0.0	0.0
総細胞数	2488	総体積	2.84E+06
種類数	12	(μm^3)	

- 注1) 細胞数の単位は(細胞/ml)
ただし*印の種は群体数(群体/ml)
- 注2) 優占種は◎が第1優占種、○が第2優占種
数字は各綱ごとの占有率(単位:%)
- 注3) 細胞体積は、顕微鏡観察による画像から
試験的に推定した概算値である。

植物プランクトン優占種

第1優占種		細胞数 (細胞数/ml)
珪藻綱	<i>Melosira granulata</i>	1200

第2優占種		細胞数 (細胞数/ml)
緑藻綱	<i>Pediastrum biwae</i>	520

植物プランクトン第1優占種



Melosira granulata
(メロシラグラヌラータ)
珪藻綱

細胞は円筒形で、糸状の群体を形成する。
群体の両端に顕著な長い剛毛を1~3本有する。

植物プランクトン第2優占種



Pediastrum biwae
(ビワクンショウモ)
緑藻綱

16, 32, 64細胞からなる群体を形成する。
各細胞は1本の角状突起を持ち、突起同士が対をなすのが特徴である。
琵琶湖の固有種とされ、ピワクンショウモと呼ばれている。